

平成28年度

第2回宝達志水町社会教育委員会議

<日 時> 平成28年9月21日(水) 午後7時から

<場 所> 生涯学習センター「さくらドーム21」

2階 第2会議室

■出席者

<社会教育委員>横山議長、向瀬副議長、栗原委員、柏崎委員、中川委員、中村委員、美作委員

<事務局>山岸教育長、宮本課長補佐、角見主任

■欠席者

<社会教育委員>北橋委員

1 開会あいさつ

- ・横山議長あいさつ
- ・山岸教育長あいさつ

2 議題(事務局説明 承認)

(1) 宝達山クリーン登山について

事務局・・・宝達山クリーン登山実施要項等について説明。

委 員・・・了承。

議 長・・・3コースから2コースに変更になった理由を教えてください。隊列のイメージからすると、長くなると目が行き届かないのでは。隊列が間延びすると熊、猪及びスズメバチの危険性から、伝達手段である無線機もデジタルではなく、アナログを使用すべきである。

事務局・・・主な変更理由は厳しい財政状況を考慮して、民間バスの委託をやめ、低額のスクールバスを利用することにした。また、スクールバスの台数の制限から、通常の3コースから本間谷コースを除き、上野と東間の2コースとした。当初は、上野コースに登山する宝達高校の生徒には、登山口まで徒歩でお願いし、学校の了承を得ていたが、9月21日現在で、各小・中学校及び宝達高校の参加する生徒の登山人数が確定したため、宝達高校と連携し、上野の登山口までのバスの運行を確保することができた。参加する生徒の班編成については、今年度、実施した結果を再度考慮し、実行委員会で検討したい。また、無線機については、議長からのご指摘のとおり、デジタル無線機を使用するのではなくアナログ無線機を使用し、携帯電話との併用で対応したいと考えている。また、熊、猪及びスズメバチ等については各コースの現地を、再度、調査及び確認をしたいと考えている。

委 員・・・社会教育委員が主となりペースを調整している。現地では、隊列が長くなるようだと、先頭にペースを落とすよう指示をしている。また参天製薬(株)のボランティアの方々や学校の先生もいるので各班で打合せのうえ対応をお願いしたい。

委 員・・・下山についても、バスの運行時間を考慮し、間に合うよう点呼を行うべきである。

委員・・・社会教育委員はこのクリーン登山の趣旨である小中高生のコミュニケーション能力を図れるよう努めたい。

委員・・・休憩は、少し広くなっているところとする。例年同じ場所で休憩している。

議長・・・このクリーン登山でお世話になった方々（社会教育委員、参天製薬(株)、猟友会、講師の先生（村井室長）方を山頂で名前の紹介及び披露をしていただきたい。その際、社会教育委員全員は共通の青のスタッフ・ジャンパーを着用することとする。

事務局・・・ご指摘のとおり、この事業にご協力していただいた方々を講演会終了後に、感謝の意を表するというので、この事業の参加者の前で皆様をご紹介します。

事務局・・・今年度から文章による救急体制の打ち合わせをするのではなく、各小・中学校及び宝達高校の養護教諭の方々と打ち合わせを行い、図面によるフローチャートを作成し、対応することとした。また、AEDを各コースに教育委員会用の乗用車に1台ずつ配備する予定。

(2) 東海北陸社会教育研究大会について

全大会（10月13日）

分科会（10月14日）

出席者 横山議長、生涯学習課 角見の2名。

(3) その他

グッドマナーキャンペーンの感想。

社会教育委員専用の上着を配布。

3 閉会

・向瀬副議長あいさつ

午後8時30分 終了